新京日日新聞

夕刊　一月六日

本紙定價　一部五錢　一ケ月壹圓
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局専用③三一二五　營業局専用③三二二〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越内之介

事變處理と諸政策　平沼首相の方針
初閣議後記者團に語る

【東京國通】平沼新首相は五日初閣議散會後記者團と會見事變處理及び諸政策に關し左の如き問答を行つた

問　前内閣の方針を踏襲するか
答　その方針だ
問　五相會議は存續するか
答　五相會議といふか否かは別として何と云つても事變處理の中心問題の所管各相をしてその樣な會議を續けたいと思ふ
問　五相會議を强化し寡頭政治を實行する意思ありや
答　さういふものにはしないつもりである
問　政黨出身閣僚は政黨代表か、また政黨に對して如何なる見解を持つてゐるか
答　日本は憲法政治を行つてゐる、憲法は勿論尊重するが憲法に基く議會がある以上議會制度も亦尊重しなくてはならぬ、現今の狀態では政黨は議會の運用につれて自然に成立してゐる、また必ず存在すべきであると思ふ、政黨を事實において無視することは出來ぬ、政黨の健全なる發達は昔から希望してゐる、政黨出身閣僚は政黨代表といふ意味ではないが政黨に籍を置いて政黨内で力のある人を内閣の一員として置くことはその必要を痛感してゐる
問　新黨問題乃至國民再編成について政府に方策ありや
答　新黨問題乃至國民再編成については私は考へてゐないが政黨の健全なる發達のため政治教育を完全にして行かなくてはいけないと考へる、教育の問題になるが日本の政治教育の基礎が何處にあるかといへば萬民扶翼といふ事にある、すべての國民は如何なる職業にあつても皇室を扶翼し奉つてお互ひに努力すべきでこれこそ一君萬民の日本精神である、これが矢張り基礎になつて行かなくてはならぬ政黨も亦この萬民扶翼といふ大きなモットーのもとに發達して行かなくてはならぬ、さうすれば各自のわたくしといふか私心といふかこれは自ら消散するものだと思ふ、さうすれば政黨は本當に正しい發達が出來る、つまり皇室の御爲にするのである、國家の爲にするのだといふ精神が基礎になれば私心は自ら消散しなくてはならぬ、これを廣く云へば一切のことに當てはまるが特に政治に就ては直接に關係がある、從つて學校教育もその趣旨で進めて行かなくてはいけない、これは一番大切な點である
問　當面の問題として議會對策如何
答　就任匆々で充分檢討してをらぬ、豫算については非常に大きな豫算だが大體これを踏襲して行かうと考へる、法律案については檢討してをらぬ、しかし前内閣がこの議會に提出しようと考へてゐたものでも或は出さぬものがあるかも知れぬ
問　貴院改革、選擧法改正、議會制度の改正如何
答　また充分考へてをらぬ
問　政務官制度の存置について如何に考へてゐるか
答　全廢の意向はないがもう少し考慮したい
問　近衞公の樞府議長として閣議に列席するのは異例と思はれるがこの點如何
答　これまで三度くらゐ例はあるが異例であつて、前回の例は如何なる理由に基いたのかよく分らぬが今回はこの必要を充分感じてゐる、といふのはかういふ大事變を控へて前内閣で種々工作を進められたが今回内閣の更迭することによつて方針が變ると思はせることは對外的にも誤解が起き易い、忌憚なく言はしむるならばどうか續いて近衞公がやつて貰れた方がよいと今なほ衷心考へてゐる、然し乍ら徹頭徹尾前内閣の方針通りやるのだと極めるわけにはいかぬ、大體の本筋が動かなかつたといふことにするのが大切であるから前首相が續いてこの内閣の一員として政務に參與せられるといふことの必要を認めて奏請した、然し平時においてはやるべきことではないと思つてゐる
問　五相會議に近衞公が出席するや
答　重要會議には加はつて貰ふつもりである、從つて五相會議には列席してもらはうと考へる
問　企畫院改組問題についてどう考へるか
答　總裁の問題とは必ずしも關係はない、改組については考慮してゐる
問　議會休會明けの時期を延期する考へはないか
答　今のところその考へは持つてゐない
問　兼任の遞信、拓務兩相は早急補充するや
答　當分このまゝで行くつもりである

◇……參内する平沼首相

新内閣當分の間　連日閣議開催
國務の繁忙と時局重大から

【東京國通】平沼新内閣は組閣早々處理を要する國務の繁忙なると時局の重大性に鑑み當分の間午前十時より首相官邸に閣議を開くことに五日の初閣議に於て決定した

恒久的建設的に　新方策樹立實行
石渡藏相財政經濟方針を明示

【東京國通】石渡新藏相は財政經濟方針につき大要左の如き談話を發表した

思ふに東亞永遠の安定を確保すべき新秩序を建設することはわが國不動の方針でこの長期建設に相應すべき財政經濟政策の項目は生產力の擴充、輸入力の增進資金及び物資の調整、公債消化の促進並に生產資金の圓滑なる供給を圖るにあるこれらに關する各般の具體的方策は前大臣の取られた所を承け今後必要に應じて隨時擴充を行ひ且つ諸方策相互間の協調並進を期して行く方針である、諸種の經濟統制も綜合的の國力を最も高度に發揮するために必要とする限度に於ては今後も引續きこれを行ふの要があること勿論で今後は恒久的な建設的な心構へを以て各般の方策を樹立し實行して行かなければならない、しかしてこの目標達成には徒らに因襲に捉はれることなく積極的に必要なる施策をなすべきことは勿論だがそのため自ら緩急宜しきを得なければならぬ、即ち時に國民生活と密接なる關係を有する財政經濟政策を行ふに當つては一面國民の經濟及び生活の實狀と乖離せざると共に他面國民の經濟及び生活をして時局に適應せしむることが肝要であると信ずる

新藏相の課題
當面の問題と政策

【東京國通】石渡新藏相の財政々策は東亞新秩序の建設を大使命としてこれが目的達成のため事變發生以來整備し來つた財政政策を一段と整備した姿において新段階にのせて行くことにあるが氏の藏相就任が池田前藏相の推輓に基いてゐると同樣その財政々策も勿論池田財政の延長であり池田前藏相、結城日銀總裁等が後楯となることは想像に難くない、すなはち石渡藏相に課せられた當面の問題と政策を展望すれば大要左の通りである

一、經濟の計畫化、統制の强化は必然的であるが新藏相はこれが政策の遂行にあたつて出來るかぎり摩擦を少なからしむるやう努力するであらう
一、明年度豫算については舊臘前内閣の閣議決定をみたる一般會計豫算をそのまゝ議會に提出するほかに追加豫算として支那占據地の經濟開發その他に要する經費を提出しまた臨時軍事費豫算を編成して長期戰の戰費支拂に遺憾なきことを期するであらう
一、增稅については差當り臨時增稅の範圍に止めるも十五年度よりは中央地方を通ずる根本的稅制整理を斷行すべくこれが立案に努力を傾注するであらう
一、公債政策については出來る限り强制保有の方法を避け池田、結城諸氏の援助と相俟つて民間の協力により消化力の增大を圖るやう努めるであらう
一、國家總動員法第十一條による配當制限、會社の經理監督等を既定方針通り押進め、更に今後必要に應じて漸次總動員法の全面的發動へと進めるであらう
一、本年度財政經濟の重要課題たる所謂物動計畫の決定生產力の擴充、產金の奬勵貿易の振興等については今後凡有る方策を講じて努力するであらう

五相會議及び　内閣參議制は存續

【東京國通】支那事變處理の根本方針決定のため近衞内閣において首相を中心に設置せられた首相、外相、藏相、陸相、海相の五相會議は平沼内閣に於てもこれを踏襲して興亞院會議と併行して重要事項の審議に當り、場合によつては近衞前首相も加はつて六相會議とする意向である、文内閣參議制もこれを存續し池田前藏相を再び參議とするほか鐵相に就任した前田米藏氏の後任も補充する方針である

國民總動員組織　情勢觀望

【東京國通】平沼新内閣は初閣議において平沼新首相より時局擔當に邁進すべき決意を示す挨拶あり併せて國民の協力を求めるべく新首相談を發表してこゝに近衞前内閣の後を受けて時局收拾に乘出す體制を整へるに至つた、しかしこ恒例の新内閣の政綱政策はこれを近く開かるべき休會明け議會劈頭における首相の一般施政方針演說に讓ることゝしたが、明年度豫算案については時局に鑑み大體これを踏襲して行く方針で、たゞ法律案については前内閣以來の懸案たる貴族院制度、選擧制度ならびに議院制度の諸改革、文官制度の改正等については再檢討の上何れとも態度を決定することゝし、また前内閣において波瀾を捲起した所謂國民總動員組織體の結成乃至國民再編成、政黨解消等諸全問題は何れもこれに手を觸れずこの點聊か前内閣と異る道を辿つて暫く情勢を觀望するものと思はれる、かくて前内閣時代における重要閣僚會議としての從來の所謂五相會議は勿論重要會議には近衞無任所相を隨時出席せしめ、國政運用の妙を發揮して行くために當分連日に亘つて閣議を開き事變新段階に對處すべき新内閣の方針を確立東亞再建の歷史的使命に向つて邁進することになつた

"大命を拜して"　平沼新首相放送
今夜七時半から全國に中繼

【東京國通】平沼新首相は六日午後七時半よりのＡＫマイクを通じ「大命を拜して」と題して全國中繼でその施政の根本方針を放送することになつた

八田商相を歡迎　岸產業部次長

平沼内閣の商工大臣に八田嘉明氏が就任したに關し產業部次長岸信介氏は左の如く語つた

周知の樣に八田さんは鐵道畑の人で商工省關係の仕事に當られたことはないが、商工省とは政策的にも接觸面が多かつたし人的にも相識つた人が多い、また大藏省方面とも滿鐵副總裁時代など接觸が多かつただらうから兩省關係の緊密さも充分保たれるだらう、更にこの上はよい次官を配すれば鬼に金棒と云ふところだらう、我々滿洲國側から云へば八田さんは内田さん、林さん二代の總裁に副總裁として輔佐の任に當られた人で滿洲の產業のことは何から何までよく御承知だからどうせ物動計畫と生產力擴充を中心に進めて行かれるべき今後の政策に於ては特に滿洲國經濟建設に就ては特に留意して戴けることゝ思ふ、五ケ年計畫の第三年を迎へて物資の問題、勞動力の問題は資金の問題と共に日本政府の緊密な連絡援助に俟たなければならぬからこの際非常に心强く感ぜられる次第だ

海軍當局期待

【東京國通】海軍では平沼内閣成立に關し五日親任式終了後左の如く當局談を發表した

事變の時局愈々重大を加へるの秋、帝國海軍は年改まると共に更に新鋭の意氣を以て全軍一體事變處理に勇往邁進せんことを期し居る矢先俄かに内閣の更迭を見たのであるが、事變の新段階に對處すべき不動の國策は既に決定せられてゐるものであり、内閣の更迭により變動することなきは勿論擧國一致の體制の下に一意事變の目的達成に萬全を期するの要切なるを痛感し以上の見地に基き海軍として新内閣に對し切に新鮮なる銳氣を以て時局の重大に處し大いに經綸の行はれんことを期待する次第である

人事往來

▲永友秀夫氏（奉天農大教授）六日來京ヤマトホテル
▲小林啓二郎氏（會社員）同
▲木原二壯氏（天寶山鑛業）國都ホテル
▲黑井四方氏（北滿製紙）同
▲秋山富義氏（同）同
▲島田專司氏（天滿織物）同
▲後藤鬱氏（官吏）同
▲大鹽伸一氏（本田商會）同
▲田邊亮氏（官吏）中央ホテル
▲堀内清兵德氏（會社員）同
▲板倉尙氏（同）同
▲竹山祐太郎氏（農林省官吏）同
▲西村彰一氏（同）同
▲草野正榮氏（畜產局）帝都ホテル
▲淺洲幸次郎氏（鑛業）同

その日く

□
蔣政權が怯えて居るといふ話、いつぞ重慶でも總辭職をやつてはどうか
□
ところで共產黨は先づ共產主義を强ひ出した、お次は國民黨の名と塗り替へるか
□
孫科副總裁にはなつたが命長くして恥多い部類ではあるまいか
□
平沼首相は言ふ、大なる勇氣と大なる希望とを以て時艱を克服せんと、その言や佳
□
われらは先づそれを時局領導者の側に於いて實踐せんことを望まう

商況欄（六日前場）

海外經濟電報

品目	相場
倫敦金塊	七磅十志二片〇〇
紐育金塊	三五弗〇〇
倫敦銀塊	二〇片八分五
同先物	一九片六分五
紐育銀塊	四二仙四分三
孟買銀塊	三留比四分一

▲市俄古小麥

限月	相場
一月限	六九仙八分七
二月限	七〇仙〇〇
三月限	七一仙〇〇

▲紐育棉花

限月	相場
現物	八仙九一
一月限	八仙四五
三月限	八仙四一
五月限	八仙一八
七月限	七仙九七
九月限	七仙五三
十二月限	七仙九五

▲印棉

品目	相場
ブローチ	一六二留比八分五
オームラ	一四八留比八分七
ベンゴール	一二三留比八分五

▲カルカツタ麻袋

品目	相場
鐵筋	二四留比四分三
青筋	二七留比六分七

▲紐育株式

品目	相場
スチール株	六七弗四分三
アナゴンダ株	三四弗八分七

▲外國爲替

品目	相場
米英爲替	四弗六六分九
米日爲替	二七弗〇九仙
米支爲替	一六弗七〇仙
米佛爲替	二仙六二分三
英米爲替	四弗六六三仙五〇

▲滿洲中銀爲替

品目	相場
英日爲替	一志二片〇〇
英支爲替	八片四分三
英佛爲替	一七六法郎六二
印日爲替	七八留比八分五
紐育向	二七弗八分一
倫敦向	一志二片〇〇

▲阪神爲替

品目	相場
對米賣	二七弗三二分五
對米買	八分一
對英賣	一志二片
對英買	〇三〇

▲東京株式（短期）

各地株式市況

▲大阪株式（短期）　新東、大新、鐘紡、帝新、洋紡、日魯、郵船、同新、日石、日立、滿業、電工、東電、日電、滿鐵、糖新、日曹
▲大連株式（短期）　大新、新東、鐘紡、滿業、日魯、五品、東新、滿業、同紡、鐘紡、滿鐵、土木、豆新、大新
（寄付・大引の各値は判読不能）

各地商品市況

▲大阪綿糸　一月限・二月限・三月限・四月限
▲大阪綿布　一月限・二月限・三月限・四月限・五月限・六月限・七月限
▲東京人絹　當限・先限
▲大阪棉花　當限・先限
▲大阪期米　一月限・二月限・三月限・四月限・五月限・六月限・七月限
▲大阪人絹　當限・中限・先限
▲横濱生糸　一月限・二月限・三月限・四月限・五月限
（各値は判読不能）

各地特產市況

▲新京　豆　先限・一月限・二月限
▲大連　大豆　一月限・二月限・三月限・四月限・五月限・三等豆　豆粕　現物・一月限・二月限・三月限・四月限・五月限　豆油　現物・一月限・二月限・三月限・四月限・五月限
（各値は判読不能）

斷乎反對押し切り 大連市長は官選

大津總長の東上で最後的決定 三月頃實施の運び

内地都市行政の新動向示唆

大連市長の官選問題は内地都市行政の新動向を示唆するものとして各方面から多大の注目を惹くとゝもに大連市に於いては市長官選に反對の氣勢を擧げて成行が注視されてゐたが、舊臘大津總長の東上によつて急轉直下法制局を通過し、近く樞府の諮詢を經て三月頃公布實施されることになつた、すなち大連市長の官選問題は民選市會議員中に市民の代表者たる本分を沒却し甚しきに至つては密かに市長に對し利權、金品を要求する者さへあると噂されゝ、大津敏男總長の州廳長官時代より市政改革案と併行して市長官選が問題となり種々研究檢討中であつたが、その後大津州長官が關東局總長に就任するに及んで急速に具體化され昨年十一月御厨文書課長の上京、今吉司政部長の東上によつて法制局、對滿事務局との間に説明並びに正式折衝が行はれ續いて舊臘大津總長の東上によつて最後的決定をみたもので、大連市長の官選は内地各都市に於いて市長を繞り政黨、利權、選擧が生む腐敗せる市政に對し革新方向を與へる劃期的新機軸とみられ、關東州が内地行政の試錬場の役割を演じてゐる現狀よりして注目すべきものがある右につき大津總長は次の如く語る

大連市長の官選案はこんどの上京で最後的決定をみて樞密院に廻付され審議されることになつた、實施期その他に關しては樞府の諮詢を經た上でなければ言へないが、大體四月以前の豫定だ

拓植委員會議開く

滿洲大量移民並びに青少年義勇隊入植計畫、資金計畫、鮮拓と滿拓との機構問題等の再檢討を行ふべき日滿移民會議は七日より二日間開催されるが、これに先だち六日午後一時より日滿軍人會館で滿洲拓植委員會主催の下に磯谷委員長、加藤、大津、坪上、矢野、星野、岸、片倉、皆川の各委員の外、滿洲國側より結城開拓總局長、五十子同總務處長、各部次長、處長、古海主計處長、神田參事官、二宮鮮滿拓總裁等關係者多數出席、會議は磯谷委員長の挨拶、稻垣事務局長の經過報告の後、直ちに協議事項の審議に入つた

首警寄生蟲檢査

首都警察廳衞生科では管下職員及びその家族の健康を保持するため來る九日より向ふ一週間に亘つて希望者に對し寄生蟲の檢査を實施することゝなつた

市衞生處が贈る 新春匆々の朗報

學校衞生や、無料診療所など

市公署衞生處に於ては一般滿人の衞生思想の普及並に施設の整備等につき鋭意努め多大の成果を收めて來たが、新春劈頭同處が市民に贈らうとする衞生施設に對する朗報三つ

（その一） 衞生思想の普及は學校兒童を通じてやることが最も効果的であるとの着眼、本年度は學校教育の内とくに衞生教育の充實を圖るため市内滿人中等學校優級、國民各學校に對し夫々專屬の學校醫及び看護婦を配屬する事となつた、即ち從來學校醫は市立醫院より三名を囑託してゐたが、これを專屬醫とし四名を採用看護婦は從來四名專屬を十六名に增員して各學校に一名を配屬するもので兒童の身體檢査、トラホームの治療等體位の向上に努めると共にその他一般衞生の思想普及に兒童を通じ各家庭へ呼びかけることゝなつた

（その二） 非衞生的な生活による一般滿人市民中には尚トラホーム及皮膚病患者が多數あると見られてゐるが、之が撲滅に積極的に乘り出し市内の適當な場所に無料診療所二ヶ所を設置することゝなつた、場所は目下考慮中であるが、適當な家屋を借り受けて開設の豫定で近く實現の運びである

（その三） なほ城内老市場内に市營の共同浴場を開設しながら、蓋を開けて見ると利用者は以外に少くその原因が奈邊にあるか當局に於ては目下研究中である、だがいづれにせよ滿人を風呂に入れさつぱりさせることは衞生思想普及上最も効果的であることに鑑みさらに一ヶ所共同浴場を新設しやうと計畫、目下場所等について研究中で、これまた近く具體化される筈である

郵政局荒しのスリ 中央通署で逮捕

働き場を金泰に變へた所を

五日午後二時頃中央通署孫張、呂刑事が市内巡視中擧動不審のチンピラ滿人が金泰内をうろ〳〵してゐるのを發見本署に連行して取調べた所、吉林省永吉縣生れ前住所哈爾濱道外古小五道街劉殿溝（一七）で圖らずも昨年末中央郵政局、八島通郵政局で混雜にまぎれ掏摸を行つてゐたこと判明、詳細目下取調中であるが歳末頻々として起つた郵政局荒しの大部分はこの者の仕業で被害額約二百圓にのぼる見込で新年となり郵政局も閑となつたので場所を變へて金泰で一稼ぎしやうとしてゐたものである

青年學校生 武裝分列行進

新京青年學校では戰時下第三年の新年を迎へて銃後青年の意氣益々盛んなるを見よと九日第三學期始業式に當つて午前七時黎明の嚴寒を衝いて中央通新京神社前を武裝分列行進を行ひ羽田校長の閲兵を受け意義深い新しき年の第一歩を踏出すことゝなつた

第三學期始業式

兵隊さん達のおかげで新しい年を迎へる事が出來て私達も一つ歳を取りましたと樂しい冬休みの思ひ出を胸に兒童達の嬉しさに溢れて各小學校では六日第三學期始業式を擧行した、新しい年への出發と共に學年最後の學期で兒童達の顔も何か知ら緊張して長校先生のお話も一段と意義深く感ぜられ、式後神社近くの學校では新京神社へ參拜して第三學期の第一日を終つた

シャム訪問飛行 廿五日東京發

昨年十二月一日を期し華々しくスタートした大日本航空會社は東亞の新事態に即應して着々業務の擴大强化をはかりつゝあるが、同社ではこの新らしきスタートを記念してシャム訪問親善飛行を計畫し舊臘來準備中であつたが、諸般の準備全く整ひいよ〳〵二十五日を期し東京立川空港を出發途中台北飛行場に着陸一路バンコックに向ふ豫定であるが、飛行機は昨年四月伯林新京間一千七百キロを雁行飛行で新記錄を樹立したハインケル一一六型機を使用し當時の名パイロット中尾利純氏が譽れのレバーを握る筈である

三浦部隊寒稽古

新京三浦部隊では九日から二十二日まで將校集會所で劍道寒稽古を行ふが一般の參加も歡迎すると、時間は毎日午後四時半から五時半まで一時間である

今成、川崎兩議員

衆議院議員工藤十三雄氏を團長とする支那派遣軍慰問議員團は昨年十一月東京出發目下各地を慰問中であるが、うち今成留之助、川崎末五郎兩氏は六日奉天着七日來京、八、九兩日滯在、十日羅津、十一日清津を視察日本海航路にて十三日新潟上陸歸京の豫定

在滿卯年の名士（下）

中銀監事 丁士源氏（六十一歳）

浙江省呉興縣出身、青年時代端親王に愛されて英國に留學法律經濟を修めて歸國後は北京の官邊に有用視され、陸海軍、民政部等に聘されて軍職に就き民國革命後税關、鐵道航空方面の要職にあつたが安福戰で安福派が大敗した結果同派の元兇として追捕を受け當時日本公使館に避難して一命を全ふしたといふ危い瀬戸際を渡つてゐる、同派の權力回復後は北京に戻り段執政の顧問として財界に重きをなし陸軍中將の肩書を持つてゐる滿洲事變後滿洲建國に參畫、大同元年國際聯盟會議開催に際しては滿洲國を代表して赴歐、歸國して駐日初代公使、康德二年公使館昇格にあたり辭官、直ちに中銀入りをしたものである、英國に留學しただけに英語は流暢、天稟の雄巧者で一たび口を開けば談論風發縷々不盡、眞に對者をして辟易せしめるものがある、「滿洲國の松岡」だといふ評あり當代に稀れな人格者である

△滿鐵理事兼新京支社長 平島敏夫氏（四十九歳）

平島氏の滿洲生活は二度目である、大正七年東大の法科を出てから高文にパスして内務省に入り累進して神社課長を勤め上げたが辭して川村社長の秘書役として滿鐵に轉じ地方課長をやつてゐた時、川村氏が臺灣總督に就任したので又引張られて官界に逆戻り昭和七年の總選擧に郷里宮崎縣から遂鹿、見事に代議士に當選したもの、陣笠生活二年にして議會政治の現狀に愛想をつかした氏は新東亞の動きに着目し、聘さるゝまゝに滿洲帝國協和會入りしたのが康德二年であつた、かくて滿洲における二度目のスタートを切つた氏は僅か數年の間に協和會總務部長から錦州省次長、滿鐵理事とトントン拍子の出世で行くとして可ならざるはなく、羨望の的となつたものであるがこれも氏の玲瓏な人格と明敏なる頭腦の然らしむるところで時の人として平島時代はこれからの觀がある

△興安西軍管區司令官代理 烏爾金中將（四十九歳）

ブリヤート蒙古人で生れはザバイカル州チチエンスク・ツーグンス旗である、チタの市立大學に學んだのち一時小學校の教員をやつたが、教育家は柄に合はず三軍叱咤の將たらんとしてダウリヤの士官學校に入學、卒業と共にザバイカル・ブリヤート軍の騎兵中隊長となり、ついでブリヤート長官公署軍事課長、露國革命の際セミヨノフの沒落に伴ひザバイカル州を撤退してホロンバイルに移任、ホロンバイル・ブリヤート旗總官にまで累進したが、舊政權に慊らずして辭任、野に下つて氣鋭の蒙古青年を傘下に集めホロンバイル青年黨を結黨して機を窺ふうち、滿洲事變となりホロンバイル軍長として縱横に活躍驍名を馳せた、建國直後ブリヤート旗々長、ついで興安北省警備軍參謀長並に代理司令官を任命、康德元年には建國前後の功により陸軍少將に任ぜられ興安省北警備司令、同省第一警備司令官兼興安騎兵第二旅長を經て現在に至つたもの、司令官の巴上將が目下遣歐使節團の一員として外遊中であるため代理司令官を勤めてゐる、生ひ立ちが生ひ立ちなので露語は上手なもの國軍有數のソ聯通である

△協和會中央本部審査役 甘粕正彦氏（四十九歳）

明治二十四年舊米澤藩士の嚴格な家庭に生れ明治四十五年陸軍士官學校を卒業したが大尉で退役、昭和二年社會研究のため歐米に遊び同四年歸朝滿洲事變勃發とゝもに建國の裏面に活躍偉功を立て、建國成るや執政府諮議に次で民生部警務司長になり後協和會中央本部委員を經て昭和十二年四月協和會總務部長に就任國民組織の强化に努力し康德五年八月協和會中央本部の機構改革に際し、第一線を退いたが滿洲國の訪歐修好使節團派遣に際しては副團長の重任を帶び防共各國を訪問、滿獨伊西親善に不滅の功績を殘した

△交通部次長 平井出貞三氏（四十九歳）

明治二十三年山梨縣北巨摩郡韮崎町に喜久松氏の長男として生れ、大正五年東大獨法科を卒へ在學中高文合格、同年六月遞信局書記を振り出しに遞信畑を歷任、遞信界のエキスパートとして鳴らし兼ね[illegible]されて聘につき滿洲國内交通、郵政、土木各事業に絶大な足跡を殘してゐる、氏は謹嚴な性格で神道の信奉者であるが一面多趣味な人で寶生流の謠曲、圍碁をよくし、スキーの名手である

△興安西軍管區甘珠部隊長 甘珠爾札布少將（三十七歳）

錦州省蒙古鎭旗の首、蒙古の王侯巴布札布將軍の第二子で、小中學共に日本の學校に學び、蒙古の復興のため陸軍士官學校に學び滿洲事變勃發するや内蒙自治軍を率ひ蒙古獨立のため活躍、建國と共に大同元年八月興安總署事務官達爾罕王府興安警察局長・王爺廟興安警察局長、興安南省警務廳長、民政廳長等を經て現職につき昨年五月熱河西南境の共産匪殲滅兵討伐に甘珠部隊長として活躍、赫々たる武勳を樹て軍狀奏上の光榮に浴すると共に關東軍司令官より感狀を授與された

新内閣々僚の年齢調べ

【東京國通】超非常時舞臺に飛り出た新内閣の貫祿を年齢の方から打診して見ると總理の平沼男が七十三で年がしら、近衞前首相が四十七で就任し若さで一軍を統率したとは逆に最長老の年の功で先づ一統を引締めて行かうといふ譯だ、次いで荒木文相が十歳違ひで六十三、八田商相が六十一、米内、鹽野、櫻内三相が丁度六十、前田鐵相が五十八有田外相が五十六、つゞいて板垣陸相が五十五、木戸廣瀬兩相の五十一、近衞無任所相と石渡藏相が一番若くて四十九といふ順で全閣僚の平均年齢五十七歳强である、歴代内閣に比べると近衞内閣の五十四よりは三歳老けてゐるとは云へ廣田内閣の五十九、林内閣の五十八、岡田内閣の五十九、齋藤内閣の六十と見渡したところいづれも新内閣より年上だから先づ興亞新春の海に船出する新調平沼丸は船頭さんは若いと歌つていゝだらう、殊に平沼さんを初め櫻内、石渡、近衞の四相まで當り年の卯年生れなのも縁起が良い

第六期軍需候補生卒業式

滿洲國陸軍々需學校滿蒙系第六期軍需候補生の卒業式は來る十七日午前十時から同校で擧行されるが、當日は侍從武官御差遣あり、左の式次による

一、侍從武官奉迎 午前十時
二、狀況報告 同十時五分
三、供覽劍術 同十時二十分
四、卒業講演 同十時五十分
五、卒業證書授與式 同十一時二十分
六、祝宴 正午
七、侍從武官奉送 午後零時四十分

あす（七日）

▲拓植會議於日滿軍人會館午後一時
▲渡部隊長御通夜式於公會堂午後九時

今晩の主なる放送

▲六、二五（奉天）趣味講演「正月支那芝居漫談」片山滿城▲七、三〇（奉天）合唱と齊唱「逐げよ聖戰」外▲八、〇〇（東京）ピアノと管弦樂▲八、四〇（大阪）ラヂオコント「まちがひアパート」森野鍛治哉外

傑作氾濫か

國策に沿ふ今年の各社陣容

昭和十三年度は二、三の例外を除けば作品のレベルは例年に比し却て低下した、殊に前半期においてはベスト・テンを決するに苦しむであらうと思はれるほど不振であつた、ところが事變下に迎へる第二春は早くも期待される作品が封切を目前に迎へてゐる、更に各社の企畫から想像すると矢繼ぎ早に傑作、佳作、力作が飛出すものと思はれる、その封切近き作品は次の如くである

【松竹】大船清水宏監督「子供の四季」（春、夏の巻）（秋、冬の巻）

【東寶】リヒアルト・アングスト技師が外人の見た唯一の事變記錄映畫として三ケ月餘の現地ロケを敢行「戰友の歌」（黃浦江　改題）

【日活】多摩川の田阪具隆監督が小杉勇、轟夕起子、花柳小菊、片山明彦で製作せる「爆音」

これらは昨秋封切されるものと豫想されながら封切間に合はず新春に繰越されたものである

この他松竹には澁谷實演出和田傳原作「沃土」火野葦平の兵隊三部作、衣笠貞之助の神戸事件、溝口健二の「五代友厚」伊藤大輔の「北海道開拓史」●四百六十人の家族」東寶には木村莊十二の「揚子江艦隊」熊谷久虎の「海軍陸戰隊」龍井文夫の「戰ふ兵隊」瀧澤英輔の「樋口一葉」萩原遼の「その前夜」日活には内田吐夢の「土」を筆頭に火野葦平の兵隊三部作、春原政久の「三人の特務兵」「馬と兵隊」倉田文人の「大陸移民」岸田國士作「暖流」藤澤恒夫作「花粉」大江賢次作「道化の町」千惠藏の「日蓮」新興には「日本の魂」「東京發聲には豐田四郎の「生活の探求」阿部豐の「くらげ」重宗和伸の「福澤諭吉傳」等

この豪華な陣立を見る時、今年こそ日本映畫史上空前の傑作氾濫を豫想され賴母しいものがある、ことにその取材において記錄映畫、劇映畫共に潑剌たる戰時下の意氣を示してゐる點が嬉しい

内田の"土"

足掛け三年撮影

足かけ三年、滿一年五ケ月といふ日本映畫界未曾有の日數を費し内田吐夢が心魂を傾けて製作中の小杉勇、風見章子の多摩川映畫"土"は二月末日クランクを終り三月第三週に封切の豫定である、同映畫は春夏秋冬の四季に亘り信州白馬山麓、群馬縣岡田村等でロケした大作で全映畫ファンの期待をかけられてゐる

コルダの活躍

英國映畫界の總帥ともいふべきアレキサンダー・コルダは米國ユナイトの一員としても本格的活躍を開始することゝなり、今後はハリウッドとロンドンをかけ持ちで製作に從ふ旨を發表した、彼のデンハム撮影所は同じくロンドンのパインウッド撮影所を支持する資本家關係の相談がまとまつた結果、兩撮影所を合流し一つの傘下に統率され、コルダはこゝで豫定作品を直接若しくは間接に製作し、その合間を縫つてハリウッドで先

仙人掌

美しく、至極しとやかな女給ミス東洋の新人山田君、舊臘入店以來の人氣はすばらしいものがある、いやさうした人氣よりも彼女にとつて新京は思ひ出多き土地なのである▼昭和八、九年頃の新京を知る人には一度彼女を訪れることによつてその思ひ出の新京、なつかしの新京のいわれが納得出來るのである▼亞細亞會館の眞弓君は兵隊女給として名がある程兵隊さんはとても好きなのである、彼女への音信は皆兵隊さんから、それに克明に一々返信する熱心さ▼ある寒い夜、店もはねて寢床に入つた眞弓君、いつまでも寢つかないのである、年增の同僚が變に思つてそつと見ると彼女は寫眞をじつと抱きしめてめい想にふけつてゐるのである▼『あらあんたの彼氏ー』同僚は年頃の娘無理からぬと思つたのであつたが、眞弓君ははにかむ樣子もなく『姉ちやん兵隊さんよ、兵隊さんは可愛相だワ、寒いだらうと思つて溫めてやつてゐるの』と勇敢に差出した寫眞の主は兵隊さんばかり五、六枚一束だつた

雜音

正月第二週、一番館は四日替り、二番館は三日替り何れも五日旗日にかけて好調な客足を見せたが、スター實演を加へた銀キネの盛況が目立つ▼續いてけふから豐劇は「エンタツ・アチャコの水戸黃門漫遊記」朝日座は「綴方教室」の東寶二本立、「寶の山に入る退屈男」「蒙古の花嫁」「喧嘩主從」の日活三本立、それぞれ第三週に入る▼一番館の方は八日より帝キネが「にんじん」と東寶「胡椒息子」を組んだ内容ある番組、お正月番組としては異色あるもの、長春座は島津保次郎の期待出來る大作「日本人」が登場する

晝夜用心記

(五七)

三村伸太郎・作
木下大雍・畫

遠の眼玉(六)

それから一刻あまり後のことであつた……。

柳瀨彌三郎は、傷ついた身體を、五間堀の、彼の、奥の部屋に横たへてゐた。

行燈の灯が、暗く、陰氣に部屋の中に漂ふ。

傷の痛みよりも、むしろ、無念さが、激しく、彼の身體の中に渦まいてゐる。

『宇之吉殿――』

眼をつぶつてゐた彌三郎は枕許の、宇之吉に、かう聲をかける。青白く、昂奮してゐる顔であつた。

『あの浪人者の名前は、何んと言つたかな』

『安積とか、舟兄哥が言つて居りました』

『安積――』

彌三郎は、口の中で、呟いて見る。

『勤王とか、何んとか立派なことを口先ばかりで吐しやがつて……武士らしくもねエ。義理も情も知らねエ奴等でございますねえ』

憤ほりに充ちて、宇之は、かう言つたが

『…………』

彌三郎は、それきり默つて眼をつぶる。

睫毛をぬらして、涙が、あふれ出てゐる。

妹の雪江が、そつと、次の部屋から、兄の様子を心配さうにうかがつてゐたが、宇之が

(いけません……今、氣が立つてお出でになりますから……)

といふ風に、顔をふつて見せる。

雪江は、台所に來て

『兄は、大丈夫でございませうか』

と、そこに居る舟次郎に、かうたづねた。

『…………』

舟次郎は、それに應へて、たゞうなづくより他に仕方がなかつた。

『それで、あの……山下茂兵衛は逃げてしまひましたか』

舟次郎は、うなづいて

『私も、宇之も、傍で見てゐて口惜くて堪まらなかつたんですが――相手は、四五人の浪人者だし、手出しのならねエ始末で――』

舟次郎は、今、思ひ出しても、いらくと、口惜さが、胸にこみ上げてくる。

『柳瀨さんが、今、一と息で山下茂兵衛を踏ん込んで斬らうとなすつた時で――……その、片目で、恐ろしいゝ、ばた面の浪人者が、横合からばツと飛び出して來たと思つたら……』

彌三郎の傷は、肩先で、淺かつた……安積は、べつに、殺意を持つてゐる譯ではないらしかつた。

舟次郎は、目もあてられぬといふ表情だつた。

『柳瀨さんは、それでも――』

『ま、憎い』

雪江は、唇を嚙む。

『その際に、山下茂兵衛は、逃げ出しました――で、柳瀨さんは、その片目の野郎を目がけて、激しく、斬りかゝつてお出でになりました……』

『また、さうして、そのお人達が邪魔立てなさるのでございませう……父の敵であれば……』

『それでございますよ……いゝ加減に、山下茂兵衛を逃がした後で、言ふことが、癪に觸るぢやございませんか』

『…………』

『さういふ事情があるか分らぬが、あの男は、我々の同志だ――我々が、見てゐて討すことは出來ぬと――』

雪江は、その舟次郎を、なにかなぢるやうに

『なぜ……なぜでございます』

『……』

『いゝえね、それがべら棒な理窟なんで――あいつ等は、天下國家のために命を投げ出してるんだから、親の敵なぞといふ手前勝手なことで……』

『手前勝手?……父の敵を討つのが、手前勝手でございませうか……武士の家に生れた者なら……』

雪江の心の中には、敵の山下茂兵衛より、もひとつ大きな敵が、この世の中にあるやうな氣がしてくる。

土曜 甲辰 先負 平 氏宿 舊十一月十七日

東京・本郷・神誠館

●一白の人 交際上に損失あり分相應を守り虚飾を去れ 亥と酉と巳が吉

●二黒の人 吉凶も已れの心から生ず諸事始めが大切也 寅と亥と酉が吉

●三碧の人 艱難あれども諸事進みて吉勇氣を出されよ 巳と壬と丙が吉

●四緑の人 吉中に凶を含む日妄動は凶なりと知られよ 辰と甲と丙が吉

●五黄の人 此日諸事柔和なるに宜し强剛は災を招く坤と寅と酉が吉

●六白の人 運氣順調なる日諸事意に叶ふ靜に進まれよ 未と寅と壬が吉

●七赤の人 愼しめば悔なし自戒して進まば吉大いなり 未と寅と丑が吉

●八白の人 諸事漸々に行ひ無理は大凶の基と知られよ 未と亥と酉が吉

●九紫の人 進んで諸事吉也 不相應な望を起せば凶兆 辰と未と寅が吉

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵税一ケ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用③三二二五 營業局專用③三二二〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

日滿鮮合同移民會議
愈よけふ開會
二日間、重要議案審議

政府は國策滿洲移民事業を東亞の新事態に即應せしめるため七、八の兩日新京に於て日鮮滿合同移民會議を開催することゝなり、霍關東拓植委員會を中心とする基礎工作會議を開いて同會議に附議する草案その他の對策を練つてゐたが、いよ〳〵日鮮滿委員も出揃つたので六日午前十時半よりヤマトホテル會議室にて最後の基礎工作會議を開き、滿拓において各分科別に研究を重ねてゐた各分科委員會の答申案の審議ならびに合同移民會議の下打合せを行ひ、更に午後一時よりは日滿軍人會館に「移民根本國策審議委員會」を開催、去る廿九、卅兩日行はれた會議に殘された部分の協議を行つた

委員顏觸れ

なほ七、八兩日の移民會議に出席する各委員は次の通りである

△日本側＝拓務省安井拓務局長、同山口第二課長、關宮林事務官、同八卷事務官、農林省西村經濟更生部總務課長、同竹山技師、企畫院三島調査官、同藤森事務官對滿事務局竹內庶務課長
△日本側移民關係權威者＝石黑忠篤(前農林次官)加藤完治(現內原青少年義勇軍訓練所長)那須皓博士(、橋本傳勞働科學研究所長)橋本傳左衛門博士(京都帝大教授)
△朝鮮側＝總督府松澤外事部長、同宋事務官
△民間側＝滿洲移住協會佐藤理事、農村更生協會杉野理事
△拓植委員會側＝稻垣局長、前川事務官
△滿洲側＝滿拓坪上總裁、同生駒理事、同花井理事、並に政府、關東軍關係者

移民國策に再檢討
きのふ第二次審議會 政府當局談發表

政府は七日より新京に開催される移民懇談會に對する準備として昨年末現地側各機關代表集合して提出議案の第一次審議會を開催したが、これに引續き六日午後一時より日滿軍人會館において第二次審議會を續開、政府各機關、關東軍、特殊會社、協和會、移民團の各代表八十餘名出席、左の諸件につき各機關より關係素材を持ちよりあらゆる角度より檢討、協議を行ひ午後五時散會した

一、開拓機構の適用に關する件 一、土地取得問題
一、營農に關する諸問題
一、青少年移民の訓練に關する件 一、其の他

なほ第二次審議委員會の經過につき政府は右の如き當局談を發表した

近時移民事業に關する諸狀勢の推移に伴ひ根本國策の再檢討を要するに至つたが、過般來關東軍政府其他關係各方面に於てこれが素案を研究中のところ今般その概成を見るに至つたのでこれに對する現地側の意見を取纏めるため本日關係各機關の會合を開催したのである、素案の內容は內鮮滿各種移民の入植要領、移住地の行政、經濟機構、移民用地の問題、農業經營及び生活樣式、原住民の國內移住、轉住補導助成、青少年義勇隊と協和會との關係、移民事業處理機關、財政、經濟問題その他頗る廣汎なる全體的問題であつて、その理由において、その方法論的態樣において劃期的なる革新的飛躍が期待されてゐる、本素案については七日及び八日日滿兩國關係者參集の上これが檢討を行ひその大綱的意見の一致を見たる上更に各擔當分野において研究を進めた、現地側の希望と

してはは本年八月までに最後的成案を得たい方針である

親任式に參內の新大臣

第二次審議會開催(きのふ軍人會館で)

厚生次官に岡田文秀氏起用

【東京國通】厚生次官の後任には傷兵保護院副總裁岡田文秀氏を起用することに決定、七日の閣議に附議正式發令される、なほ傷兵保護院副總裁の後任には兒玉厚生省體力局長、又厚生省體力局長には藤原傷兵保護院計畫局長が有力視されてゐる

平沼內閣出現に 獨政府筋大歡迎

【ベルリン五日發國通】ドイツ政府筋は平沼新內閣の組閣に依り友邦日本に權威ある內閣が出現したものと見て大いに歡迎して居り特に新內閣が支那事變對策を更に徹底することを期待すると共に近衞聲明にある東亞防共體制が樹立され一日も早くドイツが平和的建設事業に參加し得ることを希望してゐる、外交政策に就ては組閣に際し板垣陸相が首相に進言したとの報道が傳へられベルリンの政界並に新聞界に強い印象を與へてゐる

第二回閣議開催
近衞無任所相も出席

【東京國通】平沼內閣は六日午前十時四十分より首相官邸に組閣後第二回目の閣議を開き平沼首相以下全閣僚ならびに近衞無任所相も出席、有田外相より昨年十一月卅日の御前會議において決定せる日支國交調整の根本方針について系統的に詳細な說明を行ひこれに對し櫻內農相、前田鐵相、木戶內相、荒木文相から種々質疑があり午後零時五分散會

王委員長談發表

【北京六日發國通】平沼內閣の成立に對し臨時政府王克敏氏は六日午後一時左の如き談話を發表した

日本內閣の更迭は日本の國內事情によるものでこれに對して特に感想の云ふべきものはないが、日本の國交調整に關する根本方針が從來當局要路の聲明に徵するも內閣の更迭によつて特に變化あるものとは考へられない、平沼男の人格及び閱歷は現代日本に於て傑出して居り吾人の常に尊敬おくあたはざるところで、今回大任を拜して內閣の主班となられたことに對しては刮目してその經綸の發を期待する次第である

平沼首相の第一聲
昨夜、電波通じ所信披瀝

【東京國通】政府は議會再開を目前に控へ內外の國務多端のため組閣早々連日閣議を開いて今後政府がとるべき對支政策、對議會策その他諸般の政務を決定することになり六日は先づ有田外相から詐年十月三十日の御前會議で決定してゐる日支國交調整方針について詳細なる說明があつたが今後なほ當分は當面の事務を處理する傍ら自由討議の形式で各閣僚の間に隔意なき意見の交換を行ふことになつた、從つて本格的政策決定の閣議は來週半ば頃から開かれる模樣である、平沼首相は大命を拜して重大時局擔當の任に當るにつきその決意と所信とを全國民に告げるため六日午後七時半より首相官邸に特設のAKのマイクを通じ全國中繼をもつて「大命を拜して」の題下にラヂオ放送を行つたがその內容は左の如くである

重任に

內閣總理大臣の□

私はこの重大時局に際しましてはからずも大命を拜し昨日重任に當ることゝ相成りました、こゝにラヂオを通じて全國民諸君に親しく御挨拶の言葉を申述べますることは私の最も欣幸と致すところであります、支那事變はすでに第三年を迎へ着々戰果を收めて今や新しい段階に入りました、之偏へに御稜威の下忠勇なる將兵諸士の奮闘と銃後國民の熱誠とによるものでありまして誠に感激のほかはありませぬ、殊に長期にわたり各地に轉戰し幾多の艱難を克服し、而も連勝を重ねつゝあるわが將兵の方々に對しては心より感謝致すと共に、護國の英靈に對しましては深く哀悼の意を表する次第であります、支那事變に對處すべき帝國の方針は畏くも聖斷を仰ぎ奉つた確固不動のものが存するのであります、前內閣はこれに基いて諸般の施策を進めたのでありますが、新內閣におきましても勿論この帝國不動の方針に基きましてあくまで所期の目的達成に一路邁進するのみであります、もとより時局の前途はいよ〳〵多難なるべきは察するに難くないのでありますが、この難局を打開し光明ある

前途を

開きますためには國家の總ての力をこの目的貫徹に集中すべきは言を俟たぬところであります、從つて今後の政策の重點は綜合國力の擴充に置き廣く世界の情勢を注視してこれが運用に當りたいと思ふのであります、既往になづまず新規を衒はず專ら國家總動員體制を强化して內外各般の國策遂行に當るつもりであります、申すまでもなくわが國の政治の基礎は全國民が如何なる職業にあつても各々その分を盡して皇室を輔翼し奉る萬民輔翼に存すると思ふのであります、それ故に假令へ如何なる國難に直面しても却つて益々一致團結國體意識を强化してこれを克服し來つたのであります、先般の開院式の御勅語の中に仰せられた如くこの傳統的國民精神の昂揚と國家總力の發揮こそ東亞における新秩序の建設といふ大業を完成する最も

大事な

要件であります、私は大命を拜しました上は聖旨を奉戴し粉骨碎身御奉行申上げる決心であります、全國民諸君におかれましてはこの心持ちを諒とせられ擧國一致協力せられむことを切望して止まぬ次第であります

ビルマ總督 全國に戒嚴令

【上海六日發國通】ラングーン來電によれば、ビルマ總督サー・アーチボールド・コクレーン氏は五日突如布告を發し全國に戒嚴令を命じた、戒嚴令の內容は軍隊輸送のため警官に車輛徵發の權限を與へる等相當深刻なもので重大反響を呼び起してゐる

共同政治委員會設置
共產黨更らに要求

【香港六日發國通】重慶よりの確報によれば汪精衛の國外脫出事件によつて無期延期中の五中全會は近く開催され今後の抗戰體制たる國府部內抗戰主流と共產黨との提携を決定し新國共合作を實現せしめるものと豫想されてゐたが、蔣介石は目下西南各省軍政首腦を重慶に招集中でありこれ等軍政首腦の意向を聽取した上遲くとも十日頃には蔣介石の意中に何等かの決定を見るべく、然るのち五中全會の開催時期が決定されるものと見られてゐる、かゝる情勢を感知した共產黨側では何れにせよ國民黨側が來る十五日には五中全會を開催することは不可能とみて更に近く國民黨に對し來る十五日をもつて中央政治委員會を改組して國共兩黨共同政治委員會を設くべしとの重大要求を發することになつたと言はれる、共產黨側の要求するこの共同政治委員會は九名乃至十五名の極めて少數の委員を以て政治最高權力機關を構成せんとするもので恰もソヴイエート共產黨における中央政治局に該當するものといはれる

沙灣水道を攻略
海軍、陸軍連繫作戰

【上海六日發國通】艦隊報道部六日午後四時發表＝南支方面に於て海軍珠江部隊の一部は一昨四日未明沙灣攻略陸軍部隊の沙灣水道强行突破を敢導掩護したるほか海軍陸上掃蕩部隊は陸軍部隊と緊密なる連繫の下に同方面の掃蕩戰に參加し沙灣水道の入口附近に於て敵の守備隊及び大型軍用舟艇數隻を攻擊これを潰滅せり

在滿日本領事館
一部を除き撤廢
現地案、近く實行へ

駐滿日本大使館では滿洲國が斯の如く躍進的發展を遂げたる今日、在滿各地の總領事館並に領事館の存廢問題につき關係各方面と緊密なる連絡の下に鋭意研究審議を進めてゐたが、治外法權撤廢後における實績に鑑み、いよ〳〵全面的撤廢の機運を早め更に舊臘日本政府が近衞首相談の形式をもつて中外に闡明した不變不動の興亞建設方針も確立し對支工作電擊主義をもつて臨むことになつたので、在滿日本居留民の保護その他一切の事務は日滿不可分共存共榮の精神に基き滿洲國政府各機關の協力を得て大使館中心主義をとり諸般の事務を處理し、その餘力を對支工作に集中すべきであるとなし新京、哈爾濱の兩總領事館および東北滿各地の一部の領事館は今しばらく存置の必要を認めるのでこの際撤廢せず奉天、齊々哈爾、吉林の總領事館をはじめ安東、錦州、承德、赤峰、延吉の各領事館を撤廢しても何等支障なしとの意見一致した大使館では右領事館撤廢の現地案を日本政府に回附し外務本省ならびに對滿事務局の愼重審議を仰ぎ何分の指令を俟ちつゝあつたが、中央においても大體現地案に異存なき模樣であるから近く實行に移されるものと觀測される

滿洲國見解

日本政府は駐滿大使館の現地案を容れ奉天、吉林、齊々哈爾の三總領事館をはじめ南滿各地の領事館を撤廢閉鎖することに決定した模樣であるが右に就き滿洲國政府筋では左の如き見解のもとに日本政府の撤廢の精神を尊重し在滿日本人の發展により一層の協力を惜まざる旨を强調してゐる

すなはち日本政府の在滿總領事館ならびに領事館撤廢閉鎖の英斷は育ての親が眞にその子供の能力を認めて一切の事柄を委せて行く親心にほかならないのである、治外法權撤廢につゞき今また領事館の撤廢閉鎖を聞き在滿日本人發展に對する滿洲國政府の責任の重大なるを更に痛感する、治外法權撤廢後において政府は凡有る機能機關の整備擴充を圖り在滿日本居留民發展のため努力し來つたのであるが、領事館撤廢地區の對日本各機關の整備强化を圖り日本政府の領事館撤廢の精神に副ふべく萬全を期し日滿一德一心の實績を擧ぐべき決意を有すると共に友邦日本の並々ならぬ好意に深謝するよりほかない云々

人事往來

▲廣澤政孝氏(毛皮加工業)六日來京國都ホテル
▲杉木末雄氏(延和金鑛)同
▲平野太郎氏(滿洲鹽業)同
▲馬淵裕三氏(奉天紡紗廠)同
▲倉澤美德氏(官吏)滿蒙ホテル
▲毛利富一氏(間島省次長)同
▲高月茂氏(會社員)同

偶語

今春米國桑港で開かれる萬國博に日本の飛行機を出品してくれと米國から慫慂があつた▼今まで日本に飛行機があるのかとまで見縊つてゐた世界列强は朝日神風號の亞歐飛行、今次支那事變に於ける陸海荒鷲の活躍に尠からず恐懼▼然しその飛行機が全部國產機といふので肝をつぶしてゐるらしい▼すでに於て世界一を誇りたい米國は今年の萬國博に日本飛行機の出品を慫慂したのはよいが出品飛行機は▼日本から桑港まで空輸して貰ひたいといふ難しい注文をつけて日本の鼻をあかせてやらうといふ魂膽と見ることも出來る▼米國からの慫慂に對し日本では目下關係機關に於て愼重考慮中と聞く▼それは太平洋橫斷日米連絡飛行は世界人類史上空前のことでありその成否は單に日本航空界の問題のみに止まず▼延ひては日本の國威に關する如く重大視してゐるのであらうか物は考へやうだ▼世界滯空記錄を作つた純國產機でも用ひてノルかソルか一つやつて見ることも必要であらう

社説　本年度の世界經濟

今年の國際經濟界はどのやうな景象を見せるであらうか思ふに昨年とはだいぶん違つた趨きを見せることであらうすでにさうした傾向は現在と昨年の今頃とを比較しても見出されるやうである。昨年は英米を中心に、一昨年秋から持越しの景氣反動が愈よ深まり前途どう發展するか見透しがつかないやうな狀態にあつた。ところで本年の景氣はむろん安定してゐないし、いはんや決定的に上昇氣配などと言へる情勢ではないが、英米を中心として昨年よりはだいぶん改善されてゐるのである米國では工業生産は五月の低點から九月までに二十パーセント近くも戻し、就中投資財生産は二十六パーセント以上も回復を示した。スチール株なども春三月の五十五ドルといふ低相場から最近は七十ドルあたりまで來てゐる。勿論一昨年の恐慌前までにはなほだいぶん距離があるが、昨年今頃の悲觀的觀測に比較すると豫想外の回復と言つていゝであらう。投資財生産の回復振りから見ると、軍備の擴張も刺戟になつたやうだし、例の四月のポンプ・プライミング政策なども或る程度まで利いたものだと思はれる。もつとも一部學者が指摘してゐるやうに、かうした資金撒布政策の效力はその持續性に於いて疑問が持たれるのであり、その點に於いて今後の米國當局の景氣振興策がどのやうなものとして現はれるかは注目されるところである。米國の回復に伴つて英國の景氣もよくなつて來た。エコーミスト、ニユースの株價指數、フイナンシアルの景氣指數など、何れも五月を底に上向いて來た。鐵鋼業などでもひと頃は需要減で生産手控へをやつてゐたが、最近ではとても在荷だけでは註文に應じ切れぬと報道されてゐる。また貿易は英國にとつて死活的存在をなすものであるが、その貿易も八月を境にもして好轉し十月は輸出もぐつと伸びて貿易尻は昨年より良くなつた。この情勢がなほ今後も續いて行くかどうかは疑問であるが、前年と比較して好轉たることには間違ひがない。英米に比較して佛國は昨年も御難續きであつた。十一月にはつひにゼネラル・ストライキが起つた程であつた。しかし同國が再軍備の強行を必要としてゐる以上、勞働制の修正もやむを得なかつたのである。これを通じ全體的に見ると世界經濟界は相當回復したと言へるのである。しかし國際政局は依然として暗翳なものがあり、それが世界經濟を氣迷ひ情勢に置いてゐることは否まれない。各種の問題を數へ上げればきりがない位である。今年もまた相當に波瀾を豫想されるのである。世界經濟の明朗化は未だ遠いとせねばならぬ。

全東亞に擴大した日東帝國々防圏

陸軍省情報部長　陸軍砲兵大佐　清水盛明

徐州に、廣東に、將た漢武の野に、輝かしい戰史をつくつた榮ある昭和十三年を送り新東亞建設の大使命の下に、事變第三年戰捷の新年を迎へ茲に國民擧つて聖戰の萬歳を三唱し奉ることは誠に慶祝に堪へない所である、惟ふに聖戰既に一年有半、蔣政權は其の主力軍を擊摧せられ中原の地を逐はれて今や名實共に一地方政權に顛落し、潰滅の一路を辿つてゐるのであるが、迷夢未だ醒めず第三國の支援を恃み民衆武裝、焦土抗戰による最後の勝利を夢みて所在にゲリラ戰を展開し、我大陸經營を妨害して居る、之等一切の禍根を剪除して政治的に經濟的に、將た又文化的に、東亞の新秩序を創造、樹立せぬ限り眞の事變解決は所期されぬのである

而して一切の建設工作は先づ治安の恢復維持を第一の前提とすることは謂ふ迄もない

今や皇軍の占據せる地域は察哈爾、綏遠、河北、山東、山西、江蘇、安徽、河南、浙江、江西、湖北、廣東の十二省にわたり、その面積百五十萬平方粁、我が帝國全土の二倍強支那本土の三分の一に達する尨大なものであつて、占據地域内には一億七千萬の支那民衆が居住して居り、之が警備の骨幹をなす交通線は、鐵道丈でも延長五千粁、之に揚子江の水流線を加ふれば實に六千粁にのぼる、而して占據地域内には現に數十萬に餘る匪賊、遊擊隊、共産軍、共産匪が橫行してをり我に執拗なる抵抗を續けてゐるの實狀である

以上の數字を一見しただけでも治安の恢復維持の爲め前途、軍の任務は如何に重大であるかゞ判るであらう、然しながら皇軍の善謀と不撓不屈の掃蕩とに依つて近き將來にその目的を達成し得ることは明らかである

帝國の新東亞建設の聖業遂行にあたり甚だ遺憾に堪へない事は民主主義國ブロックの無理解である、彼等は口に平和を唱へ、又在支權益の維持擁護を主張しつゝ、或はクレヂットを設定し或は武器を供給し、以て瀕死の蔣政權にカンフル注射をなし衰殘の老夫を驅つて抗日戰線に逐ひやり人類相互殺戮の慘を教唆して平和來を妨ぐるの矛盾を敢へてし、自ら墓穴を掘るの愚を演じてゐる、又極東に虎視眈々たる蘇聯邦は日支相戰はしめる事によつて日本の國力を消耗せしめ、同時に支那の混亂に乘じて之を赤化しようとする一石二鳥を夢見、陰に陽にあらゆる術策を弄し且大兵を極東に集中して帝國を脅かし日蘇必戰の機運を自ら釀成して居るのである

又世界列強は其の國策遂行の支柱たる軍備の劃期的大擴張に狂奔し之が完成は正に一兩年の後に迫り、昭和十五年乃至十七年頃は實に世界的危機を孕んで居るのである

以上の客觀的情勢に對處し新東亞建設の大業遂行の大目的達成の爲には、先づ以て第三者の無用の干渉を排し全東亞を安定するに足る陸海空の軍備の擴充を必要とする詳言すれば大陸を掌握するに足る陸軍力と、西太平洋を制し得る海軍力の整備是である試みに東亞大陸大地圖を擴げれば、北は滿鮮國境より南は廣東に亘り、我が戰線の延長は實に八千四百粁、二千百里に達する、之を滿洲事變前の滿鮮國境警備線約一千粁に比べるならば實に八倍の廣袤であり、事變前の我が國防圏は……の獨佛等の努力と苦惱とに比すれば未だ物の數ではない……のである

訪歐の使命果して　使節團船中大座談會

（三）

△リットリヤの乾拓地

友松　巴さんどうです

巴　わしなんかヨーロッパへ行つて感激するものは何もなかつた（大きく出たね笑聲）いや實際だ、せめて取立て言へばリットリヤの乾拓地位です……

外國人は物質主義か

韋　西洋では自分が外國語が判らなかつたので旅行も余り愉快ぢやなかつた、それは東洋人よりも西洋人は倫……

甘粕　それは一概にそう云へない、フランス等では民族を區別しない、東洋人であらうと西洋人であらうとお客さん相手だから金さへ落……

康德己卯元旦　和神當春　張景惠

一年頭の辭

國民的自覺の強化　神吉弘報處長談

要望と意識を　新京特別市長　于靜遠

海軍始觀兵式
空海陸を海軍一色に染めて 橫須賀で擧行さる

【橫須賀國通】無敵海軍の精鋭を集めた橫須賀鎭守府海軍始め觀兵式は、六日午後一時半から橫須賀海兵團練兵場において盛大に擧行された、式場には各艦、團、部隊、各學校より選拔の陸戰隊その他機械化部隊が軍裝も凜々しく長方形三哩に亘つて蜿蜒と整列し意氣天を衝いて颯爽たるものがある、やがて午後一時半長谷川司令長官が幕僚を隨へて式場に到着、まづ各隊の前面を徒歩で閱兵、終つて指揮官藤田大佐と共に指揮臺に上れば海軍々樂隊の行進曲につれて分列行進に移る

日本晴れの旭日に映ずる燦たる劍の光、轟々として大地を踏みくだくばかりの機械化部隊の行進は帝國海軍の威容を遺憾なく發揮するかくて陸上の分列式が終らんとする頃航空基地に待機した海の荒鷲群は堀江六郎司令指揮の下に出發、橫濱航空隊副長に在します久邇宮朝融王殿下にも御先頭機に御搭乘遊ばされ雲霞の如く堂々式場上空四哩に亘つて空中分列式を行ひ午後三時この意義ある海軍始め觀兵式は閉幕した

なほ空中分列式を行つた海の荒鷲は更に帝都上空に飛來し陸の荒鷲の大群と合同して一大空中ページエントを展開、市民に力強い印象を與へた

陸軍觀兵式豫行

【東京國通】戰捷の第三年無敵陸軍の威武大陸の野に赫々たるときこの戰捷の新春を壽ぐ陸軍始大觀兵式は來る八日畏くも大元帥陛下の親臨を仰ぎ奉り代々木練兵場において擧行されるがこれに先立ち六日午前九時半から觀兵式當日と全く同樣の次第で豫行が擧行された

海國の護り固し　海軍省貸下げ

さァ滑べり初めだ！
新雪はスキーヤー喜べ招く……
淨月潭の積雪量約十センチ あすスキー場開き

スキーヤー待望の淨月潭スキー場開きは愈よ八日新京スキー俱樂部主催の下に盛大に擧行されることゝなつた、現在同スキー場の積雪量は約十糎だ未經驗者の滑走も可能であり一般の多數參加を歡迎されてゐる、尙當日はミカン拾ひ、寶探し、模範滑走等のほかおしる粉サービス等もあり興味と共に初春の新雪を截る爽快味を滿喫するには正に絕好の機會であらう、參加希望者は七日正午迄に交通會社或は市公署體育聯盟內スキー俱樂部へ申込まれたいと、因に參加料は壹圓、出發は八日午前十時、交通會社集合出發となつてゐる

北山も絕好 列車は割引運賃

吉林北山スキー場便り、氣溫零下二十度、積雪五寸、風無く新年初頭の休日を利用してのスキー行には絕好のコンデイションである、例によつて新京驛では七日、八日の土、日曜日にスキーヤーの爲吉林往復運賃割引を行ふ

防空飛行兩協會統合打合せ

滿洲防空協會並に飛行協會では事業の單一強化をはかるため舊臘來合併の準備工作中であつたが、愈々一月下旬ごろ協議會を開催、滿洲防空飛行協會（假稱）設立の最後的打合せを行ふことになつた

グライダー擴充
日本に呼應し全滿に猛運動開始

一昨年創立以來着々その事業整備とグライダー航空の普及發達に力を注いでゐる滿洲飛行協會では帝國飛行協會が新春を期して計畫樹立した日本全國のグライダー練習擴充策に呼應して四支部三分所を動員、全滿にも之が猛運動を起すことになつた、計畫の一端としてグライダー並に會員倍加運動、之に伴ふ指導者の養成增員、支部並に分所の增設等が目論まれ、舊臘中帝國飛行協會と打合せその他の用務を帶びて東上した阿久津主事の歸京を待つて具體案を練ることになつた

コンドル機五機購入

【東京國通】ベルリン＝東京間一萬五千キロを四十六時間餘で翔破した盟邦ドイツが世界に誇る優秀旅客機コンドル五機購入の契約が漸く纏つた遞信省航空局は近き將來に開拓されるべき長距離航空路に就航せしめるためかねて大日本航空をして三井物產を通じてコンドル製作會社のフオケウルフに交涉してゐたところ、このほど一臺九十萬圓で五臺と豫備發動機十臺購入の契約が成立したのである

機體は訪日機と同型B・M・W一三二L型、八百七十馬力四基を備へた廿六人乘り最高速度四百三十キロ、巡航三百卅乃至三百七十キロ、上昇限度八千五百米といふ超スピード機であるが大日本航空會社では廿六の座席のうち十七を取除いて九人乘りに改裝、十七の座席には增加タンクをつけ航續四千五百キロにする事になつた、從つて東京を基點として四千五百キロの範圍といへば西は北京、綏遠をはるか突破して西安へ亞歐南方コースをとればハノイ、バンコックを越してラングーンへ、東京より南下すればボルネオやニユーギニアへ、さらに太平洋に出ればミツドウエイまで、北にコースをとれば北海道に一着陸してノームまで無着陸で聯絡出來るわけである

この購入五機は製作出來次第南方コースをとつて空輸されるため大日本航空では優秀な操縱士、無線通信士等廿餘名をすぐつてドイツに出張させ五月中旬空輸の大業をなすものであるが、五つの大型旅客機が相次でベルリン＝東京の南方コースをとつて一萬五千キロを翔破するのは一大壯觀で春の航空界に朗らかな話題を投げてゐる

開拓總局店開き

對滿移民國策の再編成に伴ひ滿蒙拓植行政の萬全を期するため滿洲國政府は舊臘中產業部の外局として開拓總局官制を公布したが、去る四日より產業部內に店開きし愈々六日より木の香も新らしき新看板を掲げた【寫眞は誕生した開拓總局の新看板】

門松飾り請負益金を恤兵金に獻金
新京聖德會の美擧

六日午後、社團法人新京聖德會を代表して來社した會長赤羽一二氏、同理事兼會計坂根福太郎氏から恤兵金として獻金されたいと金一千圓の寄託があり、直ちに所定の手續をとつた、右は聖德會の恒例となつてゐる門松飾り請負による利益金である、今年は時局柄門松飾り等も一般に質素に行はれたのであるが、幹部始め全會員が手分けで註文取りから飾りつけまでこれに當つた努力の結晶である

お年玉を兵隊さんに 田村君兄弟から

日出町二ノ一六田村弘人さんと同政人さんの兄弟は「お年玉をいたゞきましたから少しですが兵隊さんへ」と金二圓づゝ計四圓を恤兵獻金として六日本社へ寄託したので直ちにその手續をとつた

赤帽君の赤誠

「吾等も戰時下貯蓄報國の一翼に」と之はまた明朗な聖戰下新春に奉天驛赤帽君達の赤誠！現在奉天驛では百十餘名の赤帽君達が旅客のサービスに努めつゝあるが、彼等は仕事の性質上各五十圓の身元保證金を積立て業務に從事してゐるが、奉天鐵道局宏濟會では此の意義を強調される折柄これら赤帽君達の保證金を全部愛國公債に振替へもつて今次聖戰の意義を徹底と貯蓄報國の赤誠を致さしめる事となつたものである、しかして宏濟會の機構擴充の曉は全滿各驛千數百の赤帽達に一齊に適用する筈である

對支關稅改正懇談會開催

滿支間における貿易關係は治安の安定と共に漸く舊態に復さんとしてゐるが、現行滿洲國關稅率が障害となつて正當なる滿支間の貿易を阻害してゐる憾があるので新京商工公會では經濟部の斡旋に基き六日午後四時半より支那方面に取引關係を有する在京日滿人業者、三菱、特產中央會、日本棉花、東洋棉花の各代表等約三十五名の參集を求め、商工公會側より石崎副會長、三浦常務、四戶、寺內、王、劉各理事、經濟部商務司より事務官二名出席「對中華民國關稅改正に關する懇談會」を開催、種々の意見交換を行ひ七時散會した、新京商工公會ではこの會議の結果を取纏め滿洲國政府に希望を具申する筈である

南嶺公園化計畫
寂しすぎる聖地一帶を美化 國建の具体案進む

國都の膨脹發展と共に觀光團體は逐年增加しつゝあるが、これが國都の戰跡地としての南嶺は必ずこれ等觀光客の訪れを見るところである、然るにこの一角にぽつんと取り殘されたかのやうに聳立する滿洲事變記念碑附近は聖地として餘りにも寂しい風景であるに鑑みこれが聖地として一段淨化し美化する見地から特別市公署に於ては附近一帶を記念公園として公園化すべく計畫中で目下臨時國都建設局に於て具體案立案中であるが、これが實現の曉は市民の足も一層ひくであらうと期待されてゐる

觀光協會代表日本を視察

滿洲觀光聯盟では內地觀光團體との緊密なる聯絡を圖るとゝもに內地都市觀光施設視察の爲細川新京觀光協會主事を始め全滿各地觀光協會代表約十五名を第一回視察團として日本に派遣する事となり、一行は來る十二日午後十時五分新京驛發京圖線で出發、新潟上陸の後水上スキー場、日光京濱一帶、熱海、名古屋、京阪神一帶、別府、阿蘇、雲仙、長崎、博多各地を視察すると共に各地觀光協會關係者と親しく座談會を開催して日滿觀光協會の交驩を行つて朝鮮經由二月二日午前十一時四十二分着のぞみで歸京の豫定である

滿洲國使節團を日銀が招待

【東京國通】訪歐の歸途來朝中の滿洲國經濟部大臣韓雲階氏以下同國訪歐經濟使節團一行を主賓とする日銀主催招待午餐會は六日午後零時半より同行本店で開催在京國債シンジケート加盟銀行信託代表者も列席して日滿經濟提携の緊密化につき種々懇談を重ねた

危險特殊建築の改築猶豫させぬ
新京戲院等の延期申請不許可

特殊建築物に對する防火或は避難等の施設整備については首警保安科及び建築工場科に於て以來鋭意研究を進めつゝあるが、滿人經營の新市場新民戲院、東三馬路の平安電影院に對してはかねて家屋腐朽し其他施設方面よりするも危險と見られ本月末迄これが改築方を嚴命してゐたが、資材統制の關係から改築案も行惱みとなり業者側より改築延期の申請があつた、然し現在のまゝ使用は默認出來ないと當局はさらに現地調査の結果斷乎應急處置としての改造を命じることゝなつた、尙これを契機として市內のこれ等特殊建築物に對する萬一に備へる施設の改造整備については積極的に活動を開始することゝなりその成果は注目されてゐる

岩間德也氏 建國大學入り

文敎部時代督學官並に編審官を奉じ、その後金州南山の山莊で滿人敎育にあたつてゐた滿系敎育界の元老岩間德也氏は今回建國大學囑託として迎へられ主として滿系學生の敎育にあたることになつた、岩間氏は現在全國各地で活躍してゐる滿洲國要人を多數輩出した金州南京書院の院長で、日露戰爭直後から滿洲に在つて滿人敎育にあたつて來た信望ある敎育者である

故渡中將遺骨燒香 けふ午後四時廿分公會堂で

病を得て北滿第一線の野に卒去した故渡中將の遺骨は七日午後四時新京飛行場に到着、直ちに記念公會堂に安置、植田軍司令官及び市民代表として關屋副市長の燒香あり、同午後九時より御通夜式を執行續いて翌午前七時迄御通夜の上同七時二十分飛行場出發故國に凱旋の豫定で、遺骨通過の沿道は弔旗を掲げると共に全市民の心からなる送迎及び參列を希望されてゐる、尙遺骨安置と共に四時二十分より公會堂に行はれる燒香に當つて軍司令官來場の關係上一般參列者に於ては四時十分までに着席を完了されたいと

財布の遺失二件

正月の長閑さにゆつたりした爲か寒さの爲か二ツ折財布の遺失二件、六日午後二時頃富士町二丁目一四淺川順子さんは知人の羽衣町一丁目森永氏宅より歸宅の途中現金十六圓金指環在中の黑皮二ツ折財布を落して、又午後五時頃義光路八〇一小岩勳氏は豐樂路から八島會館へ向ふ途中現金三十圓在中の二ツ折財布を落し何れも中央通署へ屆出た

寫友會一月例會

新京寫友會では一月例會は懇親會を兼ね二十日開催することに決定、多數の參集を希望してゐる、なほ十二月例會入選者左の通り

一席ハルビンの印象（澤木新氏）二席綜合法院（永野志朗氏）三席秋の池畔（酒井良一氏）四席構內所見（三浦勝一氏）五席秋（永野志朗氏）六席流氷（酒井良一氏）七席吉林を望む（生井林之助氏）八席天然の美（高野龜彥氏）九席晚秋（澤木新氏）十席おほゝゝ（澤木新氏）

大陸の冬研究に石川教授等來滿

【東京國通】新設の公衆衞生院から大陸の冬を研究するため新春早々四名の少壯學徒が北滿へ派遣される、國民體位向上の鍵を握る高級衞生技術者養成機關として昨年夏完成を見た厚生省所屬公衆衞生院は研究設備も着々充實し、來る四月一日から愈々講習生の基本講習を開始、本格的な開院を行ふことになつたが、之に先立ち職員研究室中の移民衞生研究室からわが大陸國策に活躍する移民の保健衞生對策確立を目指して石川知福教授、山岸精實助教授、柄間、白井兩學士の四名を渡滿せしめ大陸長期建設に保健衞生方面から協力することになつた 環境衞生を專門とする石川氏は大陸の冬の環境が生理現象作業能力等に如何なる影響を與へるかを調査し疫學を專門とする山岸氏はこの地方特有の風土病、克山病やカシンベツク氏病等の實相を探究する一行は來る廿日出發、約一ケ月半に亘つて北滿の各移民地を歷訪實地調査を行ふ筈であるが、その結果は各方面から期待されてゐる

訂正

本紙七日附夕刊日滿親善飛行記事中伯林新京間二千七百キロとあるは『一萬七千キロ』に訂正

「今度出來る生活必需品配給會社つてのは相當心臟が強くなくちや社長にはなれまいよ、第一商人からは目の敵にされるし値段が高かつたり品切れでもしたりすりや早速文句を食ふ、それで値段が安いからつて一向ほめてはくれないからね」―▼斯く語るは日滿商事の武部さん、さては石炭配給で苦情を言はれたのが相當こたへたと見える、石炭も生活必需品だからいつそ新會社に讓り渡したらどうです

けふの天氣　南の風雲
きのふの氣溫　最高零下一〇度七　最低零下二七度一

若殿膝栗毛（わかとのひざくりげ）

（二百二十四）

中川雨之助 作
竹　一郎 畫

惡評

兩人は、眼を見合せて、密に相槌といつた顔。

「實は、上州高崎の者で、花房英之助といふ若侍が、當家に滯在して居るといふことを、風の便りに承知して參つたが——」

迂闊なことを喋づて、善いか惡いかと、番頭は迷つたけれど、しかし下手をすれば、刀でも拔き兼まじい相手の權幕。

「へい……えゝ、英之助様とおつしやる方は、お泊りでございました。もつとも、高崎の御家中だかどうだか其邊のところは、はつきりと存知ませんけれど……」

「では、もう、當家に居らぬと申すのだな」

いかにも[illegible]たらしい、年長の武士の言葉であつた。

「へい、そのお方は昨日、お出發になりました」

「なにツ、昨日……チエツ一ト足違ひだつたか殘念なことをした」

若い方の武士は、拳を握つて、いかにも口惜しさうである。

「して、當地を出立して、何れへ參つた」

「さあ……多分大阪のやうに承はりましたが、詳しい仔細は存じません……」

番頭、そろそろ言葉を濁し始めた。

「同伴は…妹があるはずだが…」

「妹さんのことはねつから存じませんが。お銀さんといふ女の方が……」

「あ、其奴が情婦だ」

「いえ、別に情婦といふ風には見えませんだが……」

しかし、武士たちは、番頭の言葉を信じやうとはしなかつた。

「どうだ番頭。ほかにまだ同伴があつたはずだが……」

番頭は默つてゐる。

「[illegible]大納言の落胤、松平長七郎様と御一緒だらう」と、武士の聲は低い。

屋をさゝれて、さらでも無いと言ふことの出來ない番頭であつた。

つひに三文字屋へ、草鞋を脱いだ二人の武士。

いづれも、英之助と同じく、上州高崎安藤家の藩士で、年上の方が伊庭新之助、若い方は川鍋金四郎といふ者であつた。

新之助も金四郎も、ともに家中では指折の劍士であつた。

その二人の劍士が、なぜ英之助を尋ねてはるばる此處まで踏み出して來たか……？

それは、英之助を斬つて、英之助に代つて、紛失の御墨付を詮議せんが爲であつた。

高崎の城主安藤右京之進重長は彼の御墨付を盗まれてからといふもの、將軍に對して氣兼氣苦勞は一と通りでない。

その上、松平伊豆守あたりから痛い腹を、チヨイチヨイ突つかれる。ので居ても立つても居られない。

ところが、御墨付詮議と父の仇討のため出發した、花房當人の倅英之助と、妹香鳥とはそれ以來ふつつりと何の音沙汰も無い。

兄妹に對する、惡い噂がちよいちよい家中に立ち始めた頃。その噂を一層煽り立てるやうな風聞があとへあとへと高崎の城下へ舞込んで來た。

「英之助は、三州吉田の宿で、現在敵軍中に出會ひながら、討ち漏らしたばかりか、いまでは、松平長七郎の家來同様になり、御墨付の詮議など其方退けにして、長七郎の[illegible]の供をして、旅から旅を遊び歩いてゐる」

「妹の香鳥も、兄に劣らぬ性惡で、猶揚女郎になつたとの噂、また長七郎の妾になつたとも云はれてゐる」

そんな噂が、安藤重長の耳には入ると、彼は烈火の如く憤つた。

けふの番組

七日（土曜日）

朝

七、五〇（大連）ラヂオ體操・入港船のお知らせ
八、一〇 ニュース
八、四〇（大連）朝の音樂 ピアノと管絃樂 交響變想曲 セザール・フランク作曲 ピアノ リーセキング ロンドン交響管絃樂團
九、〇〇 氣象通報
九、〇五（東京）經濟市況
九、三〇（東京）經濟市況
九、四五 建國體操
一〇、四〇（大・新）經濟市況

晝

一一、三五（大連）經濟市況
一一、四〇（東京）經濟市況
一一、五九（東京）時報
〇、〇一 晝の演藝 輕音樂 軍歌接續曲 吉田一夫編曲 CYアンサンブル 獨唱 井上房子 指揮 田中良一 引續き講談社提供キングレコード 淨瑠璃小唄 A野崎村 豐竹纓太夫 B一力茶屋 喜代榮
一、三〇（東・新）ニュース 經濟市況
三、〇〇（大・新）經濟市況
四、〇〇（東京）ニュース
四、四〇 氣象通報・ニュース
五、二〇（奉天）ニュース「鮮語」（奉天）童謠「鮮語」金愛[illegible]

夜

六、〇〇（廣島）子供の時間 吹奏樂 吳海軍々樂隊 一、行進曲 軍艦旗 海軍々樂隊編曲
六、二〇（大連）コドモの新聞 外
六、二五（六連）初春俚謠アルバム＝その一＝ 解說 井田滋三 一、四方拜（伊勢大神樂） 二、御門開き（會津萬歲） 三、東方萬歲 四、端唄萬歲 五、三州萬歲（知多萬歲） 六、名古屋萬歲 七、百人一首（野大坪萬歲の內）
七、三〇（奉天）合唱と齊唱 奉天リーテルクワルテット ピアノ伴奏 小川公男 一、合唱 國民の歌 北原白秋作詞 山田耕作作曲 二、合唱 アヴェ・マリア アルカデルト作曲 緒園凉子譯詞 三、齊唱 凱旋 川田順作詞 山田耕作作曲
七、四〇（東京）講演＝未定＝
八、〇〇（東京）男聲合唱 オリオンコール 民謠集 一、眠れ愛し子 アメリカ民謠 外八曲
八、二五（東京）小唄 唄 春日とよ 三味線 春日とよ春 同 春日とよ江 一、元日や 二、あけぼの 三、陽島境內（婦系圖） 四、門松 五、日見得染 六、松竹に 七、我が住家
八、四〇（大阪）浪花節 名匠左甚五郎の內 木彫の鯉 廣澤虎吉
九、一〇（東京）長唄 春調娘七草 唄 吉住小三藏 同 吉住小桃次 外 三味線 稀音家和三郎 鳴物 望月長之助 外
九、三九（東京）時報、ニュース、ニュース解說 氣象通報、ニュース・告知事項、明日の番組
一〇、三〇 ニュース再放送
一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間

アナウンサー 上森（朝） 荒井、池谷（晝） 渡邊、畑中（夜）

大阪商船出帆

門司、神戶（大阪行）（△印は廣島寄港）
黑龍丸 一月九日
吉林丸 一月十一日
うすりい丸 一月十二日
鴨綠丸 一月十四日
熱河丸 一月十六日
うらる丸 一月十七日
扶桑丸 一月十九日
（午前十一時大連出帆）

三角、鹿兒島行
貴州丸 十二月十四日

●切符發賣所
滿鐵及國鐵主要各驛並各地ジャパンツーリストビューロー案內所
船車連絡往復切符は汽車二割引、汽船一割引、通用期間二ケ月
大連より家船往復切符は復路運賃二割引、通用期間三ケ月

專屬荷扱所 國際運輸會社各地支店

大阪商船株式會社
大連支店 電2 一一四一
奉天事務所 電3 四〇八九
新京事務所 電3 二二一六
哈爾濱事務所 電七一一〇

日本海汽船出帆

敦賀直航
●さいべりや丸（月三回）
毎月一日　十一日　廿一日 日出帆
●天草丸（月三回）
毎月六日　十六日　廿六日 日出帆
羅津發前十時 清津發後五時

北日本汽船

新潟直航
十二月より三月迄毎月三回
●滿洲丸（月三回）
毎月九日、十九日、廿九日出帆
羅津發前十時 清津發五時
●國鐵及滿鐵主要驛並にJ・T・Bにて連絡し切符發賣